

# あなたがえらぶ研究課題

わたしたちがえがく地球の未来—持続可能な地球社会へ向けて—

# 本日の来場者の概要

- ・ 実施日：2017年2月4日(土)
- ・ 回答者：本日の来場者 97人



# 高校生の概要

- ・ 実施日：2016年11月19日(土)
  - 「第4回 SSH 環境・エネルギー学会 in OBAMA」 (福井県小浜市)
- ・ 回答者：福井県立若狭高等学校に集まった全国の高校生 140人



以下では、市民 = 本日の来場者 + 高校生

テーマA：  
温暖化の予測・影響・適応・緩和

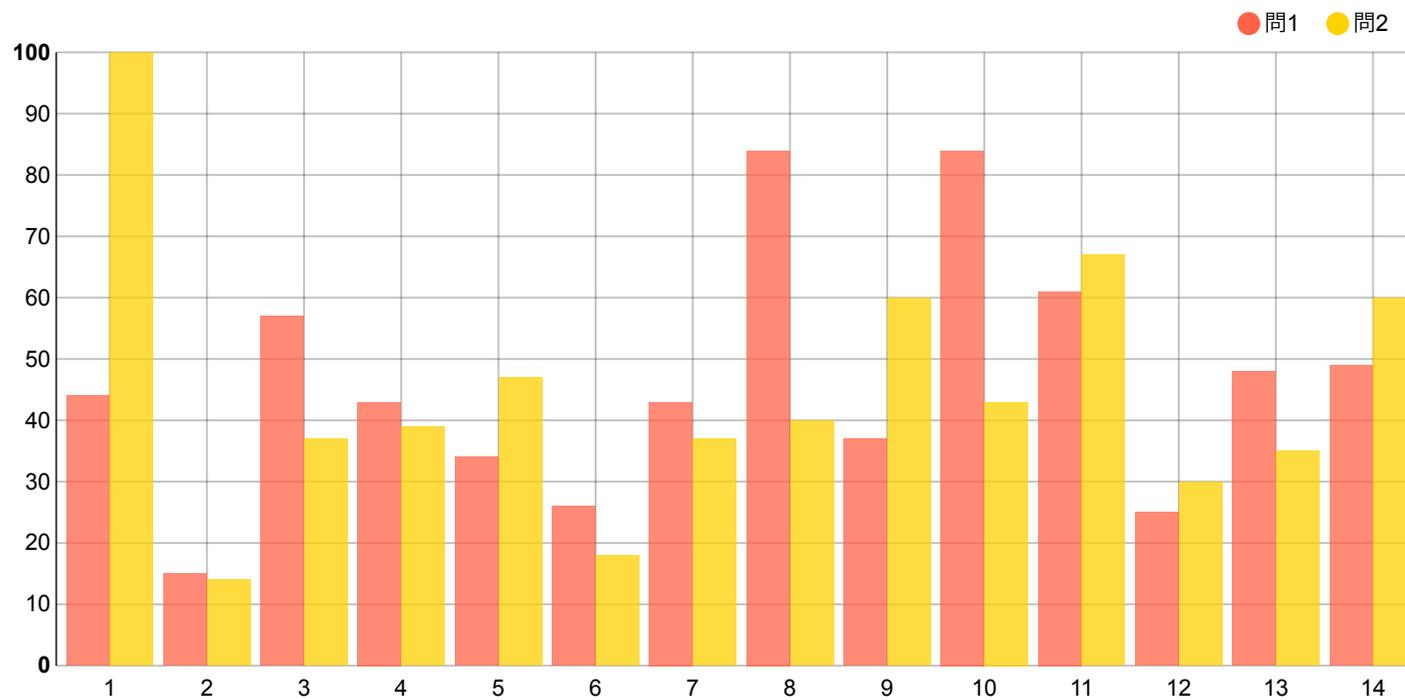
## 問1 (現在) の上位7課題

No. ◆	研究課題	◆ 票数 ◆	◆ 順位 ◆
8	日本列島は変動帯に位置しており、気候変動に伴う災害の規模が大きくなりやすいが、災害を予測し、また被害からの回復力を高めて持続可能な生活圏を作るにはどうすればよいか？	84	1
10	広い視野に立ったCO2排出削減の方法は何か？（例：家電製品を長く使うのと、エネルギー効率の高い製品へ買い替えるのとでは、どちらが環境に優しいのか）	84	2
11	どのような社会制度が最もCO2の排出が少ないのか？	61	3
3	水や土地といった地球環境の変化や、陸上・海中で起きている生態系の変化は、温暖化とどのように影響し合っているか？	57	4
14	砂漠化を防止するためにはどうすればよいか？	49	5
13	さまざまな国が連携しながら、CO2の排出権取引や炭素税といった「カーボン・プライシング」に取り組むことは、温暖化対策としてどれくらい有効か？また、CO2に価格をつけることで、経済にどのような影響があるか？	48	6
1	20～100年後の温暖化とその影響を予測する手法は何か？	44	7

## 問2 (将来) の上位7課題

No. ◆	研究課題	◆ 票数 ◆	◆ 順位 ◆
1	20~100年後の温暖化とその影響を予測する手法は何か？	100	1
11	どのような社会制度が最もCO2の排出が少ないのか？	67	2
9	温暖化対策として、植林・植生を増加・管理する方法は何か？	60	3
14	砂漠化を防止するためにはどうすればよいか？	60	4
5	生物資源・生態系と温暖化にはどのような関連があるか？	47	5
10	広い視野に立ったCO2排出削減の方法は何か？（例：家電製品を長く使うのと、エネルギー効率の高い製品へ買い替えるのとでは、どちらが環境に優しいのか）	43	6
8	日本列島は変動帯に位置しており、気候変動に伴う災害の規模が大きくなりやすいが、災害を予測し、また被害からの回復力を高めて持続可能な生活圏を作るにはどうすればよいか？	40	7

## 問1 (現在) と問2 (将来) の結果の比較



## 問1 (現在) の順位と**専門家**による順位付けの比較

No. ◆	研究課題	◆ 票数 ◆	◆ 順位 ◆	◆ 専門家 ◆
8	日本列島は変動帯に位置しており、気候変動に伴う災害の規模が大きくなりやすいが、災害を予測し、また被害からの回復力を高めて持続可能な生活圏を作るにはどうすればよいか？	84	1	上
10	広い視野に立ったCO2排出削減の方法は何か？（例：家電製品を長く使うのと、エネルギー効率の高い製品へ買い替えるのとでは、どちらが環境に優しいのか）	84	2	上
11	どのような社会制度が最もCO2の排出が少ないのか？	61	3	中
3	水や土地といった地球環境の変化や、陸上・海中で起きている生態系の変化は、温暖化とどのように影響し合っているか？	57	4	上
14	砂漠化を防止するためにはどうすればよいか？	49	5	下
13	さまざまな国が連携しながら、CO2の排出権取引や炭素税といった「カーボン・プライシング」に取り組むことは、温暖化対策としてどれくらい有効か？また、CO2に価格をつけることで、経済にどのような影響があるか？	48	6	中
1	20～100年後の温暖化とその影響を予測する手法は何か？	44	7	下

テーマB：  
リテラシー・対話・意思決定

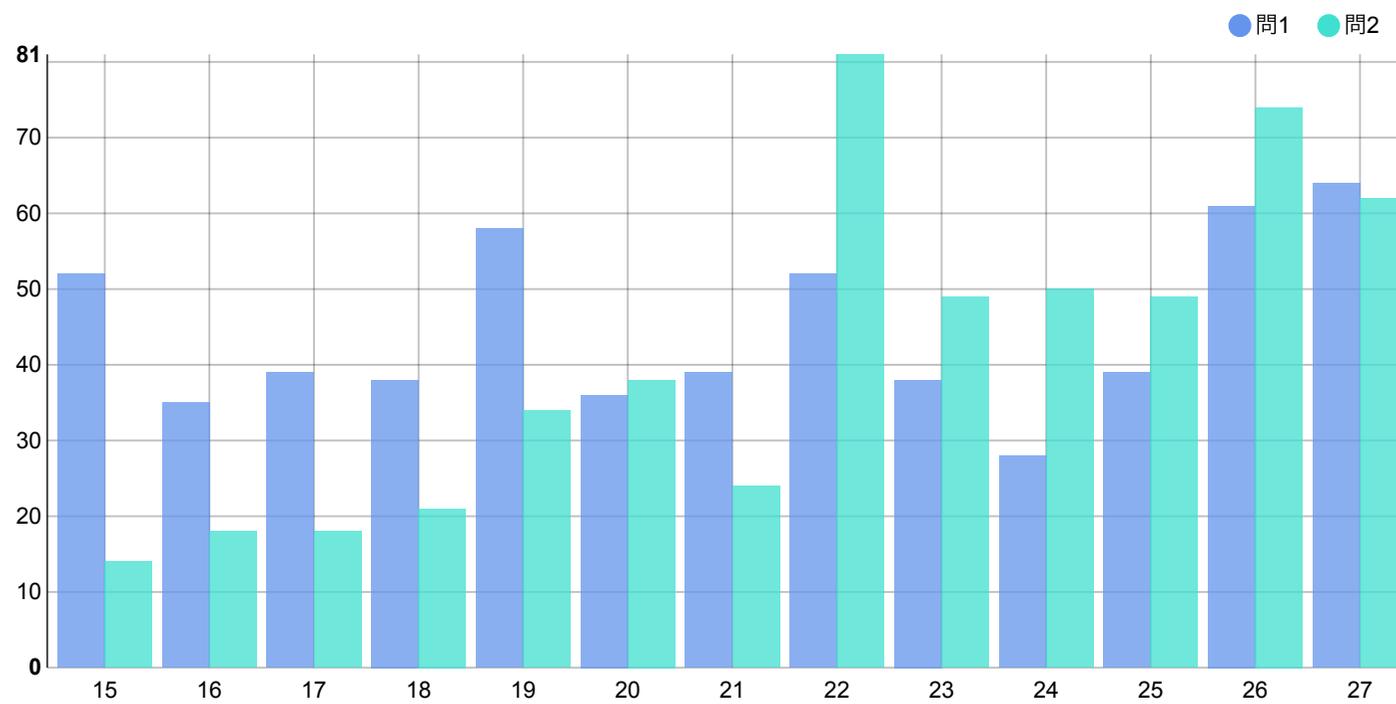
## 問1 (現在) の上位7課題

No. ◆	研究課題	◆ 票数 ◆	◆ 順位 ◆
27	福島原発事故の経験から何を学び、伝えるべきか？	64	1
26	さまざまな科学者が多様なアプローチで地球環境問題に関わる研究をしているが、異なる研究分野が協力して生み出した成果を社会へ還元し、逆に社会からの意見をまた研究に生かすようなサイクルをどうやって作るか？	61	2
19	環境問題に関して市民の意識改革や行動を促すには、市民にどのような情報を開示し、どのように提供すればよいか？	58	3
15	市民の環境問題に関する情報の活用力を向上し、行動を変えるためには、どのような環境学習が必要か？	52	4
22	将来起こりうる脅威やリスクを早期に見通すためには、どのようなデータ集積・分析、データインフラの構築、データマネジメントを行えばよいか？	52	5
17	環境やエネルギー問題について、感情論ではない論理的な意見交換や、効果的な対話をどうすれば行えるか？	39	6
21	汚染による健康へのリスクを、どのように市民に伝えるのか？	39	7

## 問2 (将来) の上位7課題

No. ◆	研究課題 ◆	票数 ◆	順位 ◆
22	将来起こりうる脅威やリスクを早期に見通すためには、どのようなデータ集積・分析、データインフラの構築、データマネジメントを行えばよいか？	81	1
26	さまざまな科学者が多様なアプローチで地球環境問題に関わる研究をしているが、異なる研究分野が協力して生み出した成果を社会へ還元し、逆に社会からの意見をまた研究に生かすようなサイクルをどうやって作るか？	74	2
27	福島原発事故の経験から何を学び、伝えるべきか？	62	3
24	国際レベルでの環境問題における意思決定はどのように行われるか？	50	4
23	地球観測データをどのように利活用し環境保全につなげるか？	49	5
25	女性やマイノリティ、声を上げない多数派であるサイレントマジョリティや将来世代といった、多様な立場からの意見を取り入れながら、環境政策の意思決定を行うにはどうすればよいか？	49	6
20	土壌、水質、大気汚染等が起こった際の風評被害を防ぐには、どのようなデータと情報が必要か？	38	7

## 問1 (現在) と問2 (将来) の結果の比較



## 問1 (現在) の順位と**専門家**による順位付けの比較

No. ◆	研究課題	◆ 票数 ◆	順位 ◆	◆ 専門家 ◆
27	福島原発事故の経験から何を学び、伝えるべきか？	64	1	中
26	さまざまな科学者が多様なアプローチで地球環境問題に関わる研究をしているが、異なる研究分野が協力して生み出した成果を社会へ還元し、逆に社会からの意見をまた研究に生かすようなサイクルをどうやって作るか？	61	2	別枠
19	環境問題に関して市民の意識改革や行動を促すには、市民にどのような情報を開示し、どのように提供すればよいか？	58	3	中
15	市民の環境問題に関する情報の活用力を向上し、行動を変えるためには、どのような環境学習が必要か？	52	4	中
22	将来起こりうる脅威やリスクを早期に見通すためには、どのようなデータ集積・分析、データインフラの構築、データマネジメントを行えばよいか？	52	5	中
17	環境やエネルギー問題について、感情論ではない論理的な意見交換や、効果的な対話をどうすれば行えるか？	39	6	上
21	汚染による健康へのリスクを、どのように市民に伝えるのか？	39	7	中

# 論点整理

## 1. 「市民」と「専門家」の違い

テーマ	市民	専門家	No.
A (温暖化)	上位	下	14
	下位	上	2, 6
B (対話)	上位	中	27
	下位	上	24

## 2. 市民の「現在」と「将来」の違い

テーマ	現在		将来	No.
A (温暖化)	1位	→	7位	8
	7位	→	1位	1
B (対話)	1位	→	3位	27
	5位	→	1位	22

このような違いが生じたのはなぜでしょうか？  
#これから議論していきましょう。